

## 佐賀県研究成果情報

ナシ炭疽病（葉炭疽病）に対する有効薬剤と耐雨性					
〔要約〕ナシ炭疽病に対してジチアノン、アゾキシストロピン、フルアジナム、クレソキシムメチル、キャプタン・ベノミルの5剤が有効である。なお、ジチアノン、アゾキシストロピンの2剤については他の3剤に比べて耐雨性の点で特に優れる。6～9月に、耐雨性、安全使用基準、経費を考慮しながらこれらの薬剤を用いることで効率的な防除が可能になる。					
果樹試験場・病害虫研究室				連絡先	0952-73-2275
部会名	果樹	専門	果樹病害	対象	ナシ

### 〔背景・ねらい〕

豊水、新高の早期落葉を引き起こすナシ炭疽病防除剤の効率的な防除法を確立するために、有効薬剤を選抜するとともに、有効薬剤の耐雨性を明らかにする。

### 〔成果の内容・特徴〕

- 1 ジチアノン（商品名：デランフロアブル）、アゾキシストロピン（商品名：アミスター10フロアブル）、フルアジナム（商品名：フロンサイドSC）、クレソキシムメチル（商品名：ストロビードライフロアブル）、キャプタン・ベノミル（商品名：キャプレート水和剤）の5剤が有効である（罹病性品種 豊水 を用いた接種試験で得られた結果であり、実験法の詳細については下記論文を参照）。
- 2 上記5剤のうち、ジチアノン、アゾキシストロピンの2剤が耐雨性に優れる（図1）。これら2剤は3か年を通して行った圃場試験でも良好な結果が得られている（表1）。

### 〔成果の活用面・留意点〕

- 1 上記の5剤のうちナシ炭疽病に対して登録があるのはジチアノン、クレソキシムメチルの2剤であるが、5剤とも輪紋病に対して既登録である。ナシ炭疽病の防除時期は輪紋病と同時期の6～9月であることから、罹病性品種 豊水 を収穫するまでは、これら薬剤を耐雨性、安全使用基準、経費を考慮しながら用いる（表2）。
- 2 豊水の収穫直後は低コストで耐雨性が高いジチアノンを使用する。ただし、新高等の晩生品種が植栽されている場合はアゾキシストロピンやクレソキシムメチルで対応する（表2）。

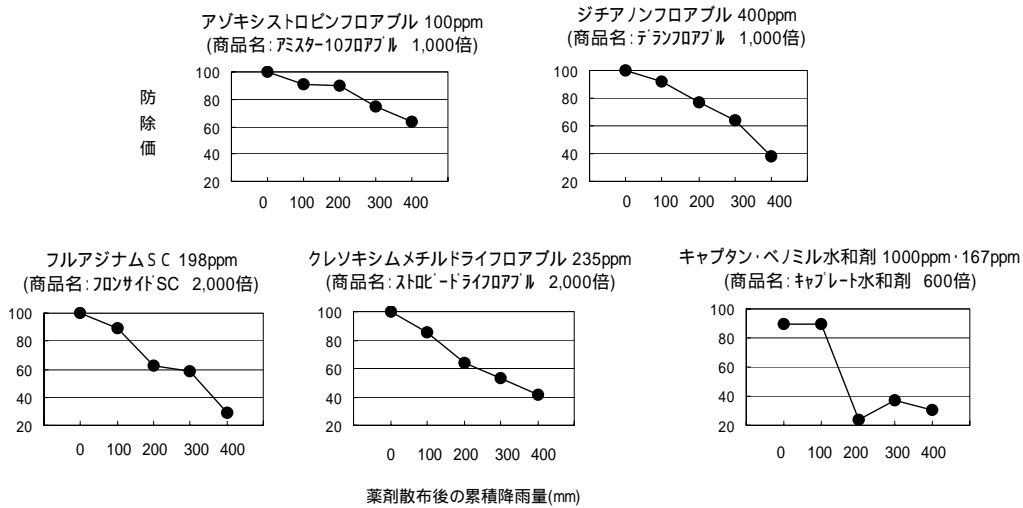


図1 ナシ炭疽病に対する各種薬剤の耐雨性評価

表1 ナシ炭疽病に対する各種殺菌剤の防除効果(圃場試験)

供試薬剤 (商品名)	使用濃度 (希釈倍数)	発病率率(%) <sup>1)</sup>			安全使用基準	経費 <sup>b)</sup> (円/10a)
		2000年	2001年	2002年		
アゾキシストロビンフロアブル (商品名:アミスター10フロアブル)	100ppm (1,000倍)	13.0 (81)	3.5 (91)	7.5 (88)	前日まで 5回以内	3,650
ジチアノンフロアブル (商品名:テランフロアブル)	400ppm (1,000倍)	12.0 (82)	2.5 (93)	3.3 (95)	60日前まで 4回以内	1,930
フルアジナムSC (商品名:フロンサイドSC)	198ppm (2,000倍)	17.0 (75)	5.8 (85)	試験せず	30日前まで 2回以内	2,450
クレソキシムメチルドライフロアブル (商品名:ストロビードライフロアブル)	235ppm (2,000倍)	26.0 (61)	11.8 (69)	8.0 (87)	前日まで 3回以内	2,750
キャプタン・ベノミル水和剤 (商品名:キャブレート水和剤)	1,000ppm・167ppm (600倍)	31.0 (54)	10.8 (72)	20.8 (67)	7日前まで 6回以内	3,500
5 無散布	-	67.0	38.3	63.0		

1) ( )内の数値は防除価を示す

表2 ナシ炭疽病防除薬剤の選択基準

使用時期・薬剤名	倍数	耐雨性	経費	日数	回数	選択基準
6月上旬～9月中旬 (幼果期～豊水終了時)						農薬の安全使用基準を考慮しながら、 できる限り耐雨性が高く、低コストの薬 剤を選択する。
ジチアノン(テランフロアブル)	1,000倍	高	1,930円	60日前まで	4回以内	
フルアジナム(フロンサイドSC)	2,000倍	中	2,450円	30日前まで	2回以内	
キャプタン・ベノミル(キャブレート水和剤)	600倍	低	3,500円	7日前まで	3回以内	
アゾキシストロビン(アミスター10フロアブル)	1,000倍	高	3,650円	前日まで	5回以内	
クレソキシムメチル(ストロビードライフロアブル)	2,000倍	中	2,750円	前日まで	3回以内	
9月中旬～9月下旬 (豊水収穫直後)						豊水収穫が終了した時点でジチアノンを 散布する。ただし、新高等の晩生品 種が植栽されている場合はアゾキシ ストロビンやクレソキシムメチルで対応す る。
ジチアノン(テランフロアブル)	1,000倍	高	1,930円	60日前まで	4回以内	

[ その他 ]

研究課題名：ナシの重要地上部病害に対する効率的で環境負荷の少ない防除技術の確立

予算区分：国庫補助

研究期間：平成13年～平成18年

研究担当者：井手洋一、田代暢哉、納富麻子

発表論文等：九州農業研究(2001). 81.

日本植物病理学会報(2004). 1-6.

平成13年度 佐賀県果樹試験場業務年報. 234-245.